

NPO法人「いなぎ里山グリーンワーク」活動レポート(2010秋～冬)

私達NPO法人「いなぎ里山グリーンワーク」が運営する「めぐみの里山」では、農業の一番楽しい収穫体験を中心に、種・苗の植え付けや、里山散策等が楽しめます。都心から30分と便利なロケーションに恵まれ、年間約40回程度のイベントに、延約4,000人の方が来場されます。

秋から冬にかけては、「めぐみの里山」にとってハイライトシーズンですが、2010年は、例年と違って、かなり悲惨な“実りの季節”でした。それでも子供達は収穫や落ち葉集め、焚火と焼いもを楽しんでいました。そんな様子を少し皆様にお知らせします。

秋から冬のおもな収穫体験イベントは

- ・落花生、ジャガイモ、里いもの収穫
- ・大根の収穫とタクワン作り
- ・白菜の収穫と漬物づくり
- ・里山で採れる材料を使ったクリスマスリース・正月飾りづくり
- ・ラズベリーの収穫生食とジャム作り
- ・サツマイモの収穫と焼いも

落花生の花(7/5撮影)



落花生の収穫(今年も豊作でした)

掘ったばかりの落花生は、きれいに洗って、海水ぐらいの塩水で茹でること、40～60分、茹で落花生の完成です。煎った落花生とまったく違った食感が味わえます。

落花生が子どもたちに人気があるのは、地面から掘出すことの意外性にあるのではと思います。あの黄色い花が地面にもぐって実を結ぶ、不思議だな、なぜ子房柄を伸ばして地の中に入るのだろうと。

里イモの収穫



若いお母さん方には、里イモの種類や調理法、保存方法を説明します。

里イモが、山芋に対する名称であること。一般に里いもと言われているのは土垂という種類であること。その他に、里イモには、八つ頭、セレベス(赤目)、竹イモ(京イモ)と言われるものがあること等を実物を見せながら説明していきます。

今年の収穫は例年の2～30%でした。



ラズベリーの収穫・生食、ジャム作り体験



私達の栽培しているラズベリーは、インディアンサマーという種類で、実は水分が多くて柔らかで、ほんのりとした酸味は北欧の貴婦人の趣と思っています。夏と秋に2回収穫できます。

日本では、ラズベリーを栽培する農家がほとんどなくなっていました。かつて東京でも多数の農家が生産していましたが、収穫にあまりにも手数がかかるため栽培を止めてしまいました。一般の方が生で食べられるチャンスはあまり多くありません。



ジャムは、ラズベリーの50%程度の重量の砂糖を加えて煮るだけで、簡単に出来上がります。新鮮なうちに作ると、凝固させる材料を加える必要がありません。レモンを加えると、きれいな色が長続きます。



ピザ用に小麦の種を蒔きました。6月中旬に収穫できる予定です。

夏には、この小麦で作った粉と、畑で採れたトマトでソースを、ピーマン、玉ねぎ、なす等をのせて特製のピザを作ります。

これって贅沢？

小麦の隣には、麦茶の自家焙煎用に大麦を植えています。7月中旬には、みんなで、大汗をかきながら麦茶を作ります。

今冬も4回の焼いもを楽しみました



収穫が終わったサツマイモ畑で、今年も4回の焼いもを焼きました。今年はサツマイモが不作で、知り合いの八百屋さんに美味しいイモを探してもらいましたが、数量を確保するのが大変でした。

焼いもの燃料は、雑木林(約1ha)の整備でできた剪定枝や切り落とした幹をみんなで運び出してきました。

都会の子供は、焚火の経験もなく、火の扱いに慣れていない子が多く、少し怖がる子が多いのですが、親、特にお父さんが手本を示してあげると、ちょっぴりお父さんの評価も高くなっているようです。

沢庵づくり



沢庵用の「細身で足の長い」大根を2~3週間乾して樽に漬け込みます。

漬け込み方法は、稲城の農家伝統の漬け方で、古老にご指導いただいています。古老でも塩の加減だけは、大根の重量を測ってから正確に計量して投入します。約3週間で食べられるので、お正月には間に合います。

クリスマスリースと正月飾りづくり体験



クリスマスリースづくり

自分たちで、里山で採取した蔓やどんぐり、ご近所の農家の庭から頂戴した木の葉を使ってリースづくり。案外、男性が楽しんでいるようです。



正月飾り

手元が写っていませんが、注連縄の作り方を指導しているところ。

藁をよじってしめ縄を作りますが、これが結構難しいものです。これに松や柚、竹、梅を飾りつけます。梅と柚は、会長（農家経営）の自宅のから持ってきました。



イイギリ

鮮やかな赤い実、今日の正月飾りの企画のためにご近所から頂いてきました。小屋横に、その存在を主張しています。

落ち葉掃きと焼いも(1月23日)

この1年間を締めくくる大きなイベント、雑木林の落ち葉掃きと焼いもが行われました。雑木林の落ち葉を、堆肥にするため山の斜面の下の谷に集めます。雑木林の広さは1haですから、少ない人数ではたいへんです。でもこの日も約100人以上の人達が協力してくれたので、あっという間に谷は一杯に埋まってしまい、楽しい、楽しい落ち葉のプールの出来上がり。

斜面の上から落ち葉のプールに向かって、次々にジャンプ。大人も子供もおおはしゃぎ。ロープでプールにジャンプ。小さい子は落ち葉にすっかり体が隠れてしまいます。

ひとしきり遊んだ後は、雑木林の木を燃やして焼いもを食べました。落ち葉掃きと焼いも



